

# ならしん景気動向調査レポート

(第23回) 2020年 1月期

奈良信用金庫 総合企画部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間…… 2020年1月
2. 調査時点…… 2020年1月 (前回調査 2019年11月)
3. 調査対象…… 当金庫取引事業先  
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法…… 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	37	94.9%
不動産業	17	16	94.1%
サービス業	14	13	92.9%
卸売・小売業	31	31	100.0%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	11	10	90.9%
全業種合計	135	130	96.3%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう135社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。  
うち、130社よりご回答を賜りました。

# 今回調査結果一覧

2020年1月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期比売上	前年同期比収益	残業時間	人材
製造業	39	37	94.9%	2.6%	7.7%	2.6%	28.2%	0.0%	-2.6%	25.6%	-5.1%
不動産業	17	16	94.1%	17.6%	11.8%	11.8%	29.4%	5.9%	5.9%	17.6%	5.9%
サービス業	14	13	92.9%	-7.1%	-7.1%	-14.3%	14.3%	7.1%	-21.4%	14.3%	0.0%
卸売・小売業	31	31	100.0%	-6.5%	6.5%	-3.2%	3.2%	0.0%	12.9%	32.3%	0.0%
建設業	14	14	100.0%	28.6%	35.7%	14.3%	21.4%	21.4%	14.3%	-7.1%	-14.3%
運輸業	9	9	100.0%	11.1%	-11.1%	11.1%	55.6%	0.0%	22.2%	22.2%	33.3%
医療・福祉	11	10	90.9%	27.3%	36.4%	18.2%	27.3%	36.4%	36.4%	18.2%	-9.1%
全業種合計	135	130	96.3%	6.7%	10.4%	3.7%	22.2%	6.7%	6.7%	20.7%	-0.7%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	25	11	17	19		
不動産業	10	3	2	11		
サービス業	8	4	6	6		
卸売・小売業	21	10	7	23		
建設業	8	6	5	8		
運輸業	4	5	7	2		
医療・福祉	5	5	3	7		
全業種合計	81	44	47	76		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。  
このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	<u>(2) やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	<u>(3) 普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	<u>(4) やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[ \frac{[(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社]}{[60.0\%]} \right] - \left[ \frac{[(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社]}{[20.0\%]} \right] = 40.0\%$$

2020年1月

全業種合計

対象先

135

回答先

130

回答率

96.3%

全体  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.1%	6.7%	-4.4%	12.6%	10.4%	-2.2%	5.2%	3.7%	-1.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.3%	22.2%	5.9%	8.9%	6.7%	-2.2%	8.9%	6.7%	-2.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
15.6%	20.7%	5.1%	-8.1%	-0.7%	7.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
60.3%	64.8%	4.5%	35.2%	38.2%	3.0%			

### ■概況 ※( )内はDI値

全業種合計の業況判断DIは良化傾向(6.7%)を維持しているが、前回調査時より4.4ポイント下降し3期連続の下落となった。卸売・小売業、建設業については前回調査より上昇したものの、その他の業種については下降となった。悪化傾向を示した業種は、前回調査に引き続き卸・小売業(-6.5%)、今回調査より悪化傾向を示したサービス業(-7.1)の2業種となる。

売上については卸売・小売業、建設業で増加したものの、サービス業、運輸業、医療・福祉で大幅に減少した。全業種全体は、前回は2.2ポイント下降したが、良化傾向(10.4%)を維持した。

収益面については良化傾向(3.7%)を継続したものの、全業種合計で前回は1.5ポイント下降した。前回調査時より改善した業種は不動産業、卸売・小売業、建設業となった。

残業時間については、「働き方改革」の影響もあり、全業種合計で5.1ポイント上昇し良化傾向(20.7%)を拡大した。

なお、借入によって資金調達を行ったのは全体の64.8%となり、前回は4.5ポイント上昇した。

全業種合計の前年同期比売上は全体的に前回調査時2.2ポイント下降したものの、良化傾向(6.7%)を継続。前年同期比の収益についても、前回は2.2ポイント下降したが、全体的に良化傾向(6.7%)を継続している。

なお、設備投資を行ったのは全体の38.2%であり、前回は3.0ポイント上昇した。

経営上の問題点としては前回に引き続き「人手不足」がトップ、次点で「同業者競争の激化」、「売上停滞・減少」と続いた。当面の重点経営施策は「人材確保」がトップ、「販路拡大」「経費削減」と続いた。

今後3カ月の見通しは、「業績」「売上額」「収益」全ての項目において、前回調査時より「普通」が減り、「やや良い」以上と「やや悪い」以下の回答が増加していることから、業況が二極化してきていると考えられる。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」13社、「普通」68社、「やや悪い」48社、「悪い」1社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」26社、「普通」77社、「やや悪い」27社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」3社、「20~29%の増加」2社、「10~19%の増加」13社、「10%未満の増加」33社 「変わらない」58社、「10%未満の減少」14社、「10~19%の減少」3社、「20~29%の減少」3社、「30%以上の減少」1社
貴社における、自社の業況が上向き転換点の見通し	「すでに上向いている」31社、「6ヶ月以内」23社、「1年後」25社、「2年後」9社 「3年後」10社、「3年超」1社、「見通しは立たない」24社
業績(1-3月見込み)	「良い」3社、「やや良い」25社、「普通」81社、「やや悪い」18社、「悪い」3社
売上額(1-3月見込み)	「良い」4社、「やや良い」30社、「普通」77社、「やや悪い」16社、「悪い」3社
収益(1-3月見込み)	「良い」2社、「やや良い」27社、「普通」77社、「やや悪い」21社、「悪い」3社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
10.3%	2.6%	-7.7%	15.4%	7.7%	-7.7%	7.7%	2.6%	-5.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
12.8%	28.2%	15.4%	-5.1%	0.0%	5.1%	2.6%	-2.6%	-5.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
10.3%	25.6%	15.3%	-17.9%	-5.1%	12.8%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
69.4%	69.4%	0.0%	33.3%	47.2%	13.9%			

## ■概況 ※( )内はDI値

製造業全体の業況判断DIは良化傾向(2.6%)を維持したものの、前回調査時に比べて7.7ポイント下降した。

売上金額も良化傾向(7.7%)は維持したものの前回調査時より7.7ポイント下降した。

収益についても売上減少、経費増加等の影響により、前回より5.1ポイントの下降となったが良化傾向(2.6%)は維持した。

資金繰りについては15.4ポイントの上昇となり、引続き良化傾向(28.2%)となった。

前年同期比売上は前回調査時と比べて5.1ポイント上昇し、中立(0.0%)となった。同収益については前回調査時より5.2ポイント下降し、悪化傾向(-2.6%)となり、先行き不安な結果となった。

一方、残業時間については前回調査時より15.3ポイントの改善となった。

人材については、前回調査時より12.8ポイント改善したものの、引続き悪化傾向(-5.1%)となった。

借入によって資金調達を行った先は69.4%であり、前回比横ばいとなった。

## ■経営上の問題点

「人手不足」が13社でトップ。次点で「売上停滞・減少」が9社、「経費の増加」が8社と続いた。

## ■当面の対策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、14社で重点施策とされている。次いで「技術力・営業力強化」12社「人材確保」11社となっている。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」16社、「やや悪い」16社、「悪い」1社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」21社、「やや悪い」11社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」0社、「20~29%の増加」0社、「10~19%の増加」3社、「10%未満の増加」5社 「変わらない」19社、「10%未満の減少」6社、「10~19%の減少」3社、「20~29%の減少」1社、「30%以上の減少」0社
貴社における、自社の業況が上向く転換点の見通し	「すでに上向いている」7社、「6ヶ月以内」4社、「1年後」11社、「2年後」2社 「3年後」2社、「3年超」1社、「見通しは立たない」7社
業績(1-3月見込み)	「良い」2社、「やや良い」8社、「普通」19社、「やや悪い」7社、「悪い」1社
売上額(1-3月見込み)	「良い」2社、「やや良い」9社、「普通」18社、「やや悪い」7社、「悪い」1社
収益(1-3月見込み)	「良い」2社、「やや良い」6社、「普通」20社、「やや悪い」8社、「悪い」1社
<p>「業況を」含め「売上」「収益」等が前回調査時より悪化しているものの、良化傾向を維持しています。 「資金繰り」や「残業時間」については前回調査時より大幅に改善し、良化傾向を拡大しています。 一方で、自社の業況が上向く転換点の見通しについて、「見通しは立たない」と答えた企業は7社あり、厳しい状況が続く可能性があります。</p>	

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
23.5%	17.6%	-5.9%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
23.5%	29.4%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
17.6%	17.6%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
60.0%	76.9%	16.9%	13.3%	15.4%	2.1%			

## ■概況 ※( )内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回は5.9ポイント下降したものの、良化傾向(17.6%)を維持した。

売上額については、前回比横ばいとなり、引き続き良化傾向(11.8%)を維持した。

収益は前回比11.8ポイント上昇し、良化傾向(11.8%)となった。

借入実施(76.9%)等で資金調達を行い、資金繰りは前回比5.9ポイント上昇の良化傾向(29.4%)を拡大した。

売上における前年同期比では、前回比横ばいで良化傾向(5.9%)を維持した。

また、同収益についても、前回比横ばいで良化傾向(5.9%)を維持した。

残業時間は前回比横ばいで、良化傾向(17.6%)を維持した

人材についても前回比横ばいで、良化傾向(5.9%)を維持した。

設備投資は前回調査時より2.1ポイント上昇し、実施した企業は2であった。

## ■経営上の問題点

経営課題としては、前回と同様「同業者競争の激化」が8社でトップ。次いで「利益幅の縮小」が5社と続いた。

## ■当面の対策

当面の対策は「経費削減」が8社となりトップとなった。続いて「販路拡大」、「情報力の強化」と続いた。

同業者競争の激化や利益幅の縮小が経営上の問題点としてあるため、今後も「経費削減」策や競争力を高める「販路拡大」「情報力の強化」が注力されると考えられます。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」9社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」11社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」0社、「20~29%の増加」0社、「10~19%の増加」4社、「10%未満の増以」2社 「変わらない」9社、「10%未満の減少」1社、「10~19%の減少」0社、「20~29%の減少」0社、「30%以上の減少」0社
貴社における、自社の業況が上向く転換点の見通し	「すでに上向いている」5社、「6ヶ月以内」3社、「1年後」6社、「2年後」0社 「3年後」0社、「3年超」0社、「見通しは立たない」1社
業績(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」13社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」10社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」9社、「やや悪い」3社、「悪い」0社

業界DIについては、前回調査時より下方に向かわせる結果となったものの、良化傾向(17.6%)を維持しており、その他の項目においても良化傾向を示していることから、引続き堅調に推移するものと思われます。

2020年1月

サービス業

対象先 14

回答先 13

回答率 92.9%

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
7.1%	-7.1%	-14.2%	21.4%	-7.1%	-28.5%	7.1%	-14.3%	-21.4%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
21.4%	14.3%	-7.1%	14.3%	7.1%	-7.2%	0.0%	-21.4%	-21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
21.4%	14.3%	-7.1%	0.0%	0.0%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
53.8%	66.7%	12.9%	61.5%	50.0%	-11.5%			

## ■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは、前回調査時と比べて14.2ポイント下落し悪化傾向(-7.1%)となった。

売上金額についても、前回比28.5ポイント下降し、悪化傾向(-7.1%)となった。収益は前回よりも21.4ポイント下降し、3期連続の大幅下落が見られた。

資金繰りについては、良化傾向(14.3%)を維持しているが、前回調査時より7.1ポイントの下降となった。

また、借入によって資金調達を行った先は全体の66.7%であり、前回比12.9ポイント上昇した。

前年同期比売上は前回比7.2ポイント下降したものの、良化傾向(7.1%)は継続した。

同収益については前回比21.4ポイント下降し、悪化傾向(-21.4%)となった。

人材については前回比横ばい、人材不足の影響からか残業時間は前回比7.1ポイント下降した。

設備投資を行った先は全体の50.0%で、前回調査時より11.5ポイント減少した。

## ■経営上の問題点

「人手不足」「同業者競争の激化」が7社でトップ。続いて「人件費の増加」が5社、「売上停滞・減少」「利益幅の縮小」が4社と続いた。

## ■当面の対策

依然として「人材確保」が9社で当面の対策として取組まれている。次点で「社員教育」が7社と前回調査に続き人材強化に意識が向いていることが伺える。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」1社、「20~29%の増加」1社、「10~19%の増加」1社、「10%未満の増加」3社 「変わらない」4社、「10%未満の減少」3社、「10~19%の減少」0社、「20~29%の減少」0社、「30%以上の減少」0社
貴社における、自社の業況が上向く転換点の見通し	「すでに上向いている」1社、「6ヶ月以内」3社、「1年後」4社、「2年後」1社 「3年後」1社、「3年超」0社、「見通しは立たない」2社
業績(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」6社、「やや悪い」3社、「悪い」2社
売上額(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」8社、「やや悪い」2社、「悪い」2社
収益(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」5社、「やや悪い」5社、「悪い」2社

業況は変化幅を下方へと向かわせ、悪化傾向(-7.1%)となりました。

人手不足の常態化や同業者競争の激化が依然重荷となっていることが伺えます。

DI結果に加えて、今後3か月の、業績、売上、収益見込みは「悪い」と回答した企業数が前回調査時より増加しているため、厳しい業況が続く可能性が高まっております。

2020年1月

卸売・小売業

対象先

31

回答先

31

回答率

100.0%

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-12.9%	-6.5%	6.4%	-9.7%	6.5%	16.2%	-12.9%	-3.2%	9.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	3.2%	3.2%	9.7%	0.0%	-9.7%	0.0%	12.9%	12.9%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
29.0%	32.3%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
53.3%	67.7%	14.4%	20.7%	23.3%	2.6%			

## ■概況 ※( )内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回は6.4ポイント上昇したものの、引続き悪化傾向(-6.5%)となった。売上に関しては16.2ポイント上昇し良化傾向(6.5%)に転じ、収益に関しても9.7ポイント上昇した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の67.7%となり、前回は14.4ポイント増加した。

前年同期比売上は前回は9.7ポイント下降し、中立(0.0%)となった。

同収益については前回は12.9ポイント上昇し良化傾向(12.9%)となった。

残業時間は前回は3.3ポイント上昇し、良化傾向(32.3%)を拡張した。人材は前回は横ばいの中立(0.0%)となった。

## ■経営上の問題点

依然として「売上停滞・減少」が10社でトップ。次点で「同業者競争の激化」が10社、「人件費の増加」が8社と続いている。

## ■当面の対策

経営上の問題点である「売上停滞・減少」の影響を受け、「販路拡大」が12社でトップ。次点に前回同様「人材確保」が11社と続いた。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」14社、「やや悪い」14社、「悪い」0社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」19社、「やや悪い」6社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」0社、「20~29%の増加」0社、「10~19%の増加」1社、「10%未満の増加」13社 「変わらない」14社、「10%未満の減少」2社、「10~19%の減少」0社、「20~29%の減少」1社、「30%以上の減少」0社
貴社における、自社の業況が上向き転換点の見通し	「すでに上向いている」4社、「6ヶ月以内」9社、「1年後」2社、「2年後」2社 「3年後」2社、「3年超」0社、「見通しは立たない」10社
業績(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」24社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
売上額(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」23社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」7社、「普通」20社、「やや悪い」4社、「悪い」0社

業況DIは依然として悪化傾向(-6.5%)を示しておりますが、前回調査時より6.4ポイント改善しており、前年同期比売上以外の項目においても、前回調査より改善傾向を示しております。業績・売上・収益見込みについては、大半の企業が「普通」と回答しておりますが、「やや良い」以上の回答が前回より増加しており、業況について今後改善傾向となることが予想されます。

2020年1月

建設業

対象先

14

回答先

14

回答率

100.0%

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
14.3%	28.6%	14.3%	7.1%	35.7%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
21.4%	21.4%	0.0%	14.3%	21.4%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
7.1%	-7.1%	-14.2%	-14.3%	-14.3%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
61.5%	57.1%	-4.4%	38.5%	38.5%	0.0%			

## ■概況 ※( )内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回は14.3ポイント上昇し、良化傾向(28.6%)を拡大した。

売上金額は前回は28.6ポイント大幅上昇し、良化傾向(35.7%)を拡大した。

収益についても前回は14.3ポイント上昇し、良化傾向(14.3%)となった。

資金繰りについては前回は横ばいとなり、良化傾向(21.4%)を継続。借入によって資金調達を行った先は57.1%で前回は4.4ポイント下降した。

前年同期比売上は前回は7.1ポイント上昇し良化傾向(21.4%)を拡大した。同収益については前回は横ばいとなり、良化傾向(14.3%)を維持した。

残業時間は前回は14.2ポイント改悪となり、悪化傾向(-7.1%)に転じた。

人材については前回は横ばいとなり、引続き不足傾向(-14.3%)となった。

なお、設備投資を行った先は5先となっており、前回は横ばいであった。

## ■経営上の問題点

依然として「同業者競争の激化」が10社と最も多く、次いで「人手不足」が8社と続いた。

## ■当面の対策

「販路拡大」が6社でトップ。次点で、「技術力・営業力強化」が5社と続いた。

同業者競争に勝ち残るために、販路拡大と技術力・営業力の強化に注力することが伺える結果となった。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」0社、「普通」10社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」9社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」1社、「20~29%の増加」0社、「10~19%の増加」2社、「10%未満の増加」5社 「変わらない」6社、「10%未満の減少」0社、「10~19%の減少」0社、「20~29%の減少」0社、「30%以上の減少」0社
貴社における、自社の業況が上向き転換点の見通し	「すでに上向いている」6社、「6ヶ月以内」2社、「1年後」0社、「2年後」2社 「3年後」4社、「3年超」0社、「見通しは立たない」0社
業績(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(1-3月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
収益(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」2社

業況、売上額、収益に関しては前回調査時より大幅に改善となりました。

同業者競争の激化や人手不足の問題点から、「残業時間」や「人材」については悪化傾向を示しています。

当面の重点経営背策として「販路拡大」や他社との差別化を図るために、「技術力・営業力強化」に取り組む

姿勢が伺えます。

2020年1月

運輸業

対象先

9

回答先

9

回答率

100.0%

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
33.3%	11.1%	-22.2%	22.2%	-11.1%	-33.3%	22.2%	11.1%	-11.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
44.4%	55.6%	11.2%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%	-11.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-11.1%	22.2%	33.3%	-11.1%	33.3%	44.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
55.6%	44.4%	-11.2%	77.8%	77.8%	0.0%			

## ■概況 ※( )内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回は22.2ポイント大幅下降したが、良化傾向(11.1%)を維持した。売上金額については前回は33.3ポイント大幅下降し、悪化傾向(-11.1%)に転じた。収益面については前回は11.1ポイント下降したものの、良化傾向(11.1%)を維持した。資金繰りについては前回は11.2ポイント上昇となり良化傾向(55.6%)を拡張した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の44.4%であり、前回は11.2ポイント減少した。

前年同期比売上は前回は横ばいで中立(0.0%)を継続。

同収益は、前回は11.1ポイント減少したものの、良化傾向(22.2%)を維持した。

残業時間は前回は33.3ポイント上昇し、良化傾向(22.2%)に転じた。

また、人材については前回は44.4ポイント上昇し、良化傾向(33.3%)に転じた。

なお、設備投資を行った先は77.8%と前回同様の水準となった。

## ■経営上の問題点

「人手不足」が4社でトップ。人材DIは改善傾向であるが、同業者競争が激化しており、引き続き人手不足が問題視されている。

## ■当面の対策

「人材確保」「社員教育」がそれぞれ4社でトップ。引き続き人材に対しての経営意識が高まっていることが伺える。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」0社、「普通」4社、「やや悪い」5社、「悪い」0社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」4社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」1社、「20~29%の増加」0社、「10~19%の増加」0社、「10%未満の増加」1社 「変わらない」3社、「10%未満の減少」2社、「10~19%の減少」0社、「20~29%の減少」1社、「30%以上の減少」1社
貴社における、自社の業況が上向き転換点の見通し	「すでに上向いている」3社、「6ヶ月以内」0社、「1年後」2社、「2年後」2社 「3年後」0社、「3年超」0社、「見通しは立たない」2社
業績(1-3月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」3社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
売上額(1-3月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」3社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
収益(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」7社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況、売上、収益が改善となりましたが、業況と収益面は良化傾向を継続しております。

売上については悪化傾向に転じました。

一方、残業時間、人材については改善傾向となっており、両項目共に良化傾向に転じましたが、同業者競争が激化していることから、引き続き人材に対しての経営意識は高まると思われます。1-3月の業績、売上、収益については前回調査と比較して「やや悪い」の回答が増加しており、今後の動向に注力する必要があります。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
45.5%	27.3%	-18.2%	54.5%	36.4%	-18.1%	45.5%	18.2%	-27.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
27.3%	27.3%	0.0%	54.5%	36.4%	-18.1%	45.5%	36.4%	-9.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
18.2%	18.2%	0.0%	-18.2%	-9.1%	9.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
60.0%	50.0%	-10.0%	40.0%	30.0%	-10.0%			

## ■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回比18.2ポイント下降したものの、良化傾向(27.3%)を維持した。売上金額・収益についても、前回比で下降したが、良化傾向を維持した。また、資金繰りについては前回比横ばいとなり、良化傾向(27.3%)を維持した。なお、借入によって資金調達を行った先は全体の50.0%であり、前回比10.0ポイント減少している。

また、前年同期比売上は前回比18.1ポイント下降したものの、良化傾向(36.4%)を維持した。同収益についても、前回比9.1ポイント減少し、良化傾向(36.4%)を維持した。残業時間は前回比横ばいで良化傾向(18.2%)を維持した。人材面では、前回比9.1ポイント上昇したものの、引続き悪化傾向(-9.1%)となった。なお、全体の30%の先で設備投資を行っており、前回比10.0ポイント減少した。

## ■経営上の問題点

依然として「人手不足」が最も多く5社。続いて「人件費の増加」が3社となった。慢性的な「人手不足」は深刻さを増し、大きな課題として捉えられている。

## ■当面の対策

「人材確保」が依然として最も多く6社でトップ。次点で「社員教育」が3社と続いた。優秀な人材確保に注力することに加えて、ベトナム稼働率を上げ、収入を向上する施策が重要となってきた。

■特別調査	2020年度の経営見通しおよび、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
2020年国内景気見通し	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」8社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
2020年貴社の景気見通し	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
2020年における貴社の売上伸率の見通し(対前年比)	「30%以上増加」0社、「20~29%の増加」1社、「10~19%の増加」2社、「10%未満の増加」4社 「変わらない」3社、「10%未満の減少」0社、「10~19%の減少」0社、「20~29%の減少」0社、「30%以上の減少」0社
貴社における、自社の業況が上向く転換点の見通し	「すでに上向いている」5社、「6ヶ月以内」2社、「1年後」0社、「2年後」0社 「3年後」1社、「3年超」0社、「見通しは立たない」2社
業績(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」5社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」4社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(1-3月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」5社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

業況、売上、収益については、前回調査時よりDI値は下降しているものの、良化傾向を維持しています。当面の施策として、サービス業の要である、人材確保、社員教育が重要視されており、人手不足に加え、採用した人材の早期戦力化が重要と認識されています。

1-3月の業績・売上額・収益の各見込みでは全ての企業で「普通」以上の回答、前回調査時より「やや良い」と回答した企業が増加しており、依然として業況は堅調に推移していくと見込まれます。